

4賞 受賞のことは

重ねた一歩 なお先へ

2020年度朝日賞と第47回大佛次郎賞、第20回大佛次郎論壇賞、20年度朝日スポーツ賞の受賞者が決まりました。合同贈呈式は28日に東京都内で予定されていましたが、新型コロナウイルスの広がりを考慮して中止としました。受賞した皆さんに、感想などを聞きました。

朝日賞

汲めども尽きぬ音楽の泉

音楽家 細野 晴臣さん(73)



山田秀隆氏撮影

ロックという音楽と僕はほとんど同じ年で、世の中に背を向けてやり出したような世代ですが、いつの間にかそういうものが世の中に定着した。音楽やポップスの歴史そのものを体験するような面白い時代を生きたなと思いますね。賞には縁がなかったのですが、大きな喜びに感じています。過去の(朝

日賞)受賞者の人々たちを見るとすごいなと思う、僕はその席に着けるのかな?ちょっと無理があるんじゃないの?とも思います。音楽が好きで、ずっと飽きないでやってきたのが良かった。やめようかと思っても、自分の知らない世界がまた広がってくる。音楽の奥の深さをもう知りたかった。衝動だけで、ここまでやってこられた。音楽は面白い。汲めども尽きない世界なんです。ね。ほその、はるおみ、半世紀たわなる音楽活動を通じ、ポピュラー音楽に大きな革新をもたらした。

撮れば必ず何かが見える

写真家 森山 大道さん(82)



賞をいただけるのは、何十年もなもので、素直にうれいいます。僕はとにかく路上に出て街の中に分け入り、街のモノや人や風景を感じ、区別することなく、さかさず撮るといってきよってききました。一枚の写真の中に、僕の記憶や様々なものが入るんです。

写真は世界の記録なんです、そこに収まり切らない。その本質は、確定せずにいつも動いてゆきます。撮っても撮っても瞬間に逃げる。でも撮らないと写らない。若い写真家たちにも、一枚でも多く撮って、と言いたい。対象は何でもいけど、とにかく撮らないと見つけられない。僕の場合も、今は世の中が静かだから撮影したいと思つたらおしまい。撮れば必ず、何かが見えてくるんです。もうやま、だいたい、スリット、スナップで写真を撮る。光と影、色などの写真集、個展も数多い。

数学で広がる人間の領域

京都大教授 望月 拓郎さん(48)



数学という基礎的な分野の研究を評価していただけて感謝しています。家族もこれまでお世話になった方が、受賞を喜んでくれたことも、うれしく思います。数学の魅力は、ある意味での「自由さ」だと感じています。現実の世界とのつながりが当面は見えなくても、「数学の世界」で成

り立ては否定されず、研究対象そのものの面白さを追求できる。それが巡り巡って、社会にも大きな影響を与えてくれると思っています。私の研究は、「空間」や「図形」の性質をどう捉えればいいのか。その「物差し」のようなものを改良して、人間が理解できる世界の範囲を広げていく、という研究の流れの上にあります。新しい知見を取り入れながら、今後も研究を深めていきたいです。もちつき、たこもち、惣煮、調和バンドルとツイスターD型の理論の研究で受賞。

量子の不思議から新分野

東京理科大学教授 蔡 兆申さん(68)



中村泰信さん 蔡兆申さん

東京理科大学教授 蔡 兆申さん(68) 理化学研究所チームリーダー 中村泰信さん(52) 理化学研究所グループディレクター

蔡兆申さんの話 我々の発見の一番の応用先は情報処理の分野。この20年で驚くほどの速さで進歩し、非常にうれしく思います。だが量子コンピュータの実現には、もっと多くの量子ビットを並べ、正確に操作しなければならぬ。正しく多くの課題がある。これからの研究を続け、新たな貢献をしていきたいです。この分野には新しい研究者も必要で、教育にも

大佛次郎賞

20年かけ触れた三島の魂

精神科医 内海 健さん(66)



「優れた散文」として評価いただき、とてもうれしく思っています。師の土居健郎先生は言葉に非常に厳しい方でした。日本語は、丁寧に扱ってこそ意味が深まる。丁寧な情動がそのまますべて出てきます。読んでいただける文章にするには、影絵する、粘り強くカンチをかけるな

ればいけないと思ってきました。思えば三島由紀夫の文章は形態、字面を見ても美しい。本書は20年来の構想によっています。昨年の三島没後50年という節目に世に問うことができた。金閣放火事件を知って直感的につかんだものはありましたが、文章にしているのは容易なことではなく、書き上げてようやく林葉と三島の魂の一端に触れたように思います。うつみ、たけし、東京芸術大学教授。受賞作「金閣を眺めなければならぬ」林葉と三島由紀夫。

大佛次郎論壇賞

ジエンダー平等胸に精進

大阪大招へい研究員 鈴木 彩加さん(35)



本を出版してからこの間、多くの方から感想をいただきました。が、まさかこのような大きな賞までいただけるとは思っていませんでした。それだけ、保守運動に参加する女性というテーマに関心を持っている方が多いのだなと改めて思いました。私は大学進学を機に京都に移

り、長い間を過ごしてきました。そうした思い入れのある京都にある出版社(人文書院)から出した本に高い評価をいただいたこともうれしく思います。新型コロナウイルスの感染拡大は、世界中でジエンダーに関する状況を悪化させており、日本もまたその例外ではありません。今回の受賞を励みとし、ジエンダー平等に資する研究ができるよう引き続き精進します。すずき、あやか、受賞作「女性たちの保守運動」。専門は社会学・女性学。

朝日スポーツ賞

名馬と経験 異次元世界

競馬 国枝栄調教師(馬)とアーモンドアイ



3年あまり預かったアーモンドアイは昨年11月のジャパンカップ優勝を最後に現役を引退しました。今月中旬、北海道の牧場で再会しました。目の輝きは現役時代と同じでしたが、母になるための落ち着いた生活でリラックスしているようでした。伝統のある賞をいただき、感謝は同4枚です。

敬しています。業界内の表彰もうれしいのですが、競馬がこうして一般に認められるのは、本当にうれしく思います。アーモンドアイという素晴らしい馬に出会い、これまで経験したことのないような異次元の世界に連れていかれてもらいました。たくさんの大レースを勝たせてもらいましたが、私はまだダービーを勝つたことがありません。次の目標ですね。くにお、まかえ、中央競馬通算9008勝歴歴19位。GIレース10勝同4枚です。

学生スポーツ 自分らしく

(右から)野澤武史さん、廣瀬俊朗さん、最上結太さん



一般社団法人「スポーツを止めるな」

代表理事・野澤武史さんの話 学生スポーツに携わるすべての人が少しでも自分らしくあるように、と昨年5月、活動を始めました。現在は選手の手順を、現在進行形で活用できるシステムを開発、学生の思いの詰まった動画にトップ選手が解説をつける、SNSの使い方などの教育の三つを柱に日々全力疾走しています。すずき、あやか、受賞作「女性たちの保守運動」。専門は社会学・女性学。